

滋賀医科大学 デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン

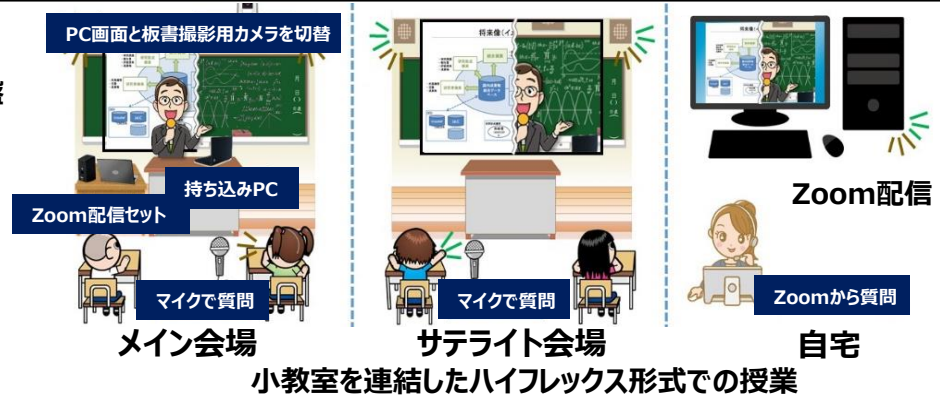
取組名称：自律的に学ぶ姿勢を育む個別化教育の推進—医療人をを目指す者の学び方改革

キーワード：#個別化教育、#反転授業、#学び方改革

取組概要：卒業認定に関する方針に基づき、学生が身につけておくべき知識・技能・態度におけるアウトカムを策定した学修成果基盤型教育を本学では行っている。アウトカムの一つに「生涯にわたって自律的に学ぶ姿勢」がある。生涯にわたる自主学修を動機づけるために、ICTを活用した学修環境を整備し、自主学修と学び合いを推進している。本取組ではWebClassやe-ポートフォリオを活用して学修状況を把握し、**個別化教育**を目指す。特に、過去の**医師国家試験問題と学修教材とをリンク**し、効率的な学びを促進する。また、**教師役反転授業**（学修者が教師役となり、反転授業の学修教材を吟味することで、学修者自身の予習とする学修法）の導入と効果検証により、新たな教授学修方略を提案する。

<機関全体のDX推進計画>

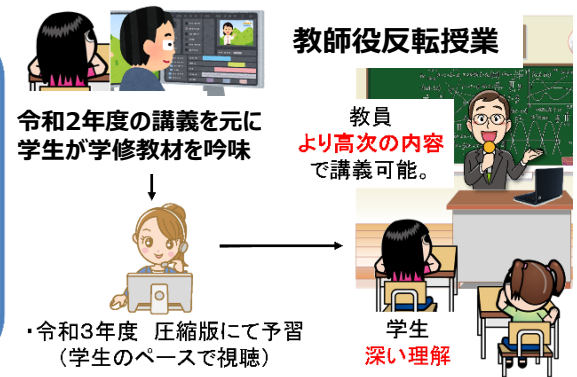
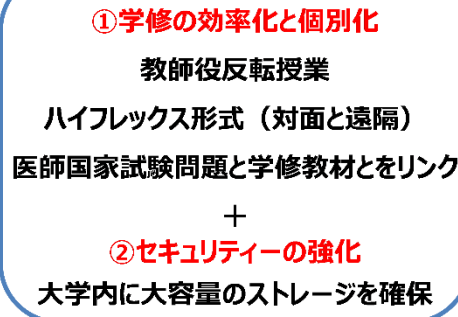
- ICTを活用した学修環境の整備を進めるとともに、**セキュリティの高い学術基盤システムを構築**する。
- 対面授業と遠隔授業のどちらも選択可能な**ハイフレックス形式で授業**を行う。
- 令和2年度にZoomで行った講義の録画資料をもとに、令和3年度より、**反転授業**を積極的に導入する。
- ICTを活用した**効率的な学修**を目指す。
- 個別化教育**を推進する。



<DX推進計画のうち本事業で取り組む内容>

- WebClassやe-ポートフォリオについてのFD研修の実施
- 反転授業を導入した高度な授業を、ハイフレックス形式で行うために、講義室における**AV機器を刷新**
- セキュリティーを強化するとともに、反転授業用の膨大な動画データの保存のために、大学内に**大容量のストレージを確保**
- 反転授業の教材の作成に学生が参加（教師役反転授業）
- 過去の医師国家試験問題と学修教材とをリンク

医療人をを目指す者の学び方改革



<取組の目標、実現する際の手段や方法、取組をとおして得られる成果>

目標：学修の効率化と個別化教育の推進

実現する際に手段や方法：1) 反転授業（教師役反転授業）、2)ハイフレックス形式の授業、3)医師国家試験問題と学修教材とをリンク

成果：各自の特性に応じて授業を受講できるようになるために、自省やメタ認知を促す機会を作り出すことができ、「生涯にわたって自律的に学ぶ姿勢」の教育となる。

